

第3回人吉球磨定住自立圏共生ビジョン懇談会 議事録

■開催日時 令和6年12月20日（金）午前10時～午前11時35分

■開催場所 人吉市役所3階 301・302大会議室

■出席者 ビジョン懇談会委員13名／24名中の出席

No		団体名（所属）	役職名	氏名 （フリガナ）	
1	人吉市	熊本県立大学総合管理学部	教授	イダ タカノリ 井田 貴志	出席
2		人吉市医師会	監事	キベ アキヒロ 岐部 明廣	欠席
3		人吉温泉観光協会	副代表理事	カワノ セイイチ 川野 精一	出席
4		球磨焼酎酒造組合	副理事長	ツツミ ジュンコ 堤 純子	欠席
5		人吉商工会議所	専務理事	イマムラ オサム 今村 修	出席
6		くま川鉄道株式会社	取締役社長	ナガエ ユウジ 永江 友二	出席
7	錦町	球磨地域農業協同組合	理事 （金融共済専門委員）	クボタ ノリオ 久保田 徳男	欠席
8		錦町農業委員会	農業委員	オガタ ア キ コ 尾方 安枝子	出席
9	多良木町	球磨郡公立多良木病院企業団	事務長	クロキ マサヒロ 黒木 政裕	欠席
10		多良木町文化協会	会長	オオタ チサト 太田 千里	出席
11	湯前町	湯前町区長会	会長	ナカタケ ヨシ アキ 中武 義秋	出席
12		湯前町文化財保護委員会	委員長	ミゾシタ マサミ 溝下 昌美	出席
13	水上村	水上村立保育所	所長	シイバ ユミ 椎葉 由美	出席
14		水上村社会福祉協議会	福祉活動専門員	ナカハラ ナナ 中原 奈々	欠席
15	相良村	相良村商工会	青年部長	マキノ ヤス トモ 牧野 耕文	欠席
16		相良村有害鳥獣捕獲隊	隊長	イワタ アキ ヒロ 岩田 明博	欠席
17	五木村	(株)子守唄の里五木	駅長	イモト ジュン 井元 淳	欠席
18		五木村観光情報センター	センター長	カリヤマ ツネオ 仮山 常雄	出席
19	山江村	NPO法人かちゃリンクやまえ	専務理事	モトヤマ タミコ 本山 民子	欠席
20		山江村民生委員児童委員協議会	会長	タニガワ ヤス テル 谷川 安照	出席
21	球磨村	球磨村森林組合	参事	イン ドウ ダイスケ 犬童 大輔	欠席
22		球磨村教育委員会	教育委員	ナカイ クミ 中井 久美	出席
23	あさぎり町	あさぎり町婦人会		カムラ ジュンコ 嘉村 淳子	出席
24		あさぎり町農業女性の会	会長	ナガイ トモミ 永井 友美	欠席

【幹事会】

市町村名	課名	職名	氏名
錦町	企画観光課	課長	岩尾 和文
多良木町	総務課	課長	東 健一郎
湯前町	企画観光課	課長	伊藤 賢一郎
水上村	総務課	課長	田代 浩章
相良村	企画商工課	課長	佐竹 淑子
五木村	総務課	係長	桑田 江美
山江村	総務課	主幹	白川 満
球磨村	復興推進課	課長	大岩 正明
あさぎり町	企画政策課	課長	沖松 勝彦

【オブザーバー】

熊本県南広域本部 球磨地域振興局	総務振興課	主任主事	津山 紗弓
---------------------	-------	------	-------

【部会事務局】

部会名	検討母体	事務局 市町村	担当課	役職	氏名
救急医療部会	(球磨圏域保健衛生協議会でまとめている)	あさぎり町	健康推進課	課長	荒川 誠一 (欠席)
発達相談部会	球磨圏域乳幼児発達相談事業運営協議会				
障がい者(児)部会	人吉球磨障がい者総合支援協議会	人吉市	福祉課	主幹	今村 紀仁
文化部会	球磨地域文化財広域連携協議会	人吉市	文化課	係長	塩谷 達郎
				主席	手柴 友美子
観光部会	市町村企画・観光担当者会議	人吉市	商工観光課	主幹	山室 義広
農業部会	くま農業活性化協議会	あさぎり町	農林振興課	課長補佐	田口 宏幸
林業部会		人吉市	農林整備課	主幹	坂口 貴司
しごと創生部会	人吉・球磨しごと創生連絡協議会	あさぎり町	商工観光課	参事	岩本 祐一郎
鳥獣害対策部会	球磨地方公有林経営協議会	五木村	産業振興課	主事	馬場 秀也
消費生活部会	人吉球磨生活支援ネットワーク	人吉市	地域コミュニティ課 (消費生活センター)	課長補佐 (兼係長)	鵜口 智広
地域公共交通部会	人吉球磨地域公共交通担当課長会	人吉市	交通政策課	係長	米原 行宏
		くま川鉄道再生協議会		主事	中村 拳也
人材育成部会	人吉球磨総務担当課長会	人吉市	総務課	課長	那須 裕史

【事務局】

人吉球磨定住自立圏推進協議会事務局	人吉市	復興政策部	政策統括監	緒方 竜二
		復興政策部 復興支援課	課長	竹内 常泰
			係長	古賀 靖章
			主任	島田 祐芽
			主任 【担当】	山本 和也

■ 会議次第

- 1 開会
- 2 出席者紹介
- 3 会長挨拶
- 4 議事（１）第３次定住自立圏共生ビジョン（案）に係る意見募集（パブリックコメント）について
（２）第３次定住自立圏共生ビジョン（案）の修正及び最終確認について
- 5 その他
- 6 閉会

■ 議事内容

事務局	議事（１）第３次定住自立圏共生ビジョン（案）に係る意見募集（パブリックコメント）について パブリックコメントに寄せられた意見の概要について事務局から説明
部会	【文化部会】【観光部会】【鳥獣害対策部会】【地域公共交通部会】からパブリックコメントに寄せられた意見に対する回答
委員質疑	
川野委員	しっかりとした意見で一緒に話をしてみたい。民間でできるところは民間でやっていけるような施策ができればいいと思う。行政も災害があつて、疲弊していると思いますし、そこは行政と民間と力を合わせてやってく考えはないかというふうに思っております。カワウの件については、増加は顕著に見えており、他の鳥獣対策とともに、鮎を守るという観点から、カワウの把握と対策をぜひともお願いしたい。あとは先日までの九州国立博物館で、人吉球磨展が行われておりましたが、すごく都市部のお客様にあつても、人吉球磨の文化財に対して、興味をお持ちでございまして、そういった部分を文化庁の縦割りとか、観光庁の縦割りとか、そういうふうなものではなくて、国においても包括的にその部分、日本遺産とか世界遺産とかを含めたところの組織が欲しいなというふうに思っております。
井田会長	特に最後の観光と文化について、官公庁が分かれていますので、所管が別々になっている。県内が強く意志決定をして、稼ぐ文化財にするんだという方向性を持って、地域の皆様と一緒に利活用や保護をしていくことが必要。
今村委員	人吉球磨最大の課題は人口減少だと思っております。特に近年人手不足ということで観光業も、非常に不足していると聞いております。そういったことも含めて、これからどのような対策が必要なのか、貴重な意見をいただいたと思っています。
永江委員	例えば、ご意見の中にありましたトイレの設置について、課題があつて、地元の人が使われているので、私たち職員がその清掃などに時間を要して、大変な思いをしています。一部、取りやめようかという話も出てきております。本当に観光者のためのトイレという視点でいくと、ある観光地にはあると思います。うちの鉄道車両

	には、すべてトイレがあります。利用者はその中を使えばいいということになると、駅には必要がないのではないか。その管理が町なのか、または鉄道なのかということもあるが、やはり苦情が鉄道に来るので、うちの職員が一回一回行って対応している。今でも大変な思いをしているので、もう閉鎖するしかないと感じる。そういう課題もあるっていうところを考えていきながら、ハード整備とかはやっていただければありがたい。公共交通協議会も17、8年前ぐらいからあると思うんですけど、それと共生ビジョンとかが、お金を取るための目的として協議会であるとか、本当に解決しようというものなのか。業者から聞き取り等があまりないなというふうに思う。今度、神奈川鉄道と行政との意見を交換の場があったかと聞いておりますが、今後そういう機会、特に沿線自治体は、そういう意見とかを聞いて、一緒に作り上げていくようなものをお願いしたい。 私は産交バスさんと一緒に業者間でやっていかなきゃいけないよねっていう話になって、利活用しやすいようなものを作っていこうということで、いろんな策を進めています。ここは行政と一緒に進めていくべきですし、こういう意見が今まで行政の方からこんなことやりませんかとかいう話もなかったなので、一緒にやっていけるのであれば、利便性は高まっていくのかなというふうには思っておりますので、こういう協議会があることで、最大限活用していただければありがたいなというふうに思っています。
井田会長	そういった意見交換の場は、非常に大事なことです。そこで民間が発言された内容を行政サイドがどう受け止めるかだと思います。例えば都市公園におけるトイレと同じような感じなのですが、それは自治体が管理しているわけです。道路は国が何でも出して整備してくれるんですけども、鉄道については、各事業者がやれというのが、現時点での国の方針です。一昔前に比べると、駅のごみ箱が圧倒的になくなった。これは、理由はいろいろありましたけども、ゴミ箱があるから捨てるんだ。卵が先か鶏が先か問題です。どこが出发点でどこに連絡関係を持って、理解するかで、状況は変わりますので、そういう意味では、今のまさに駅トイレは、あったら便利だと思うけども、実際地元の者が使っていれば、都市公園のトイレと一緒にじゃないかと。だったらそれは行政がある程度面倒見てくれというのは、ある意味、民間業者からすれば正論であります。ただ、くま川鉄道に対する期待等が沿線にはあると思いますので、観光が、また復活してほしいと、そういう意味では各協議会の場をもっと有効に生かして、行政サイドと球磨川鉄道、産交バスなどの民間がちゃんと意見交換して、地域のために事業しているんだということが、地域の方にわかるようにしてほしい。住民がわからない状況になると、関心度が薄れるので、それが最悪の結果を招くと私は思っていますので、そうした協議会の場を一層有効活用していただければと思います。
事務局	議事（２）第３次定住自立圏共生ビジョン（案）の修正及び最終確認について 第１章から第３章までの修正点について資料に基づき部会事務局から説明
委員質疑	
	なし

事務局	議事（２）第３次定住自立圏共生ビジョン（案）の修正及び最終確認について 第４章 具体的な取組内容 圏域医療体制の充実、乳幼児発達相談、発達医療体制の充実、障がい者（児）の総合支援の推進の修正点について資料に基づき事務局から説明
委員質疑	
	なし
事務局	議事（２）第３次定住自立圏共生ビジョン（案）の修正及び最終確認について 第４章 具体的な取組内容 文化財の保護及び活用、観光の振興、農業の振興の修正点について資料に基づき事務局から説明
委員質疑	
井田会長	文化財については、稼ぐ観光文化財と認識して取り組んでほしい。維持するのもお金がかかるので、稼いだ部分で文化財の維持管理をするぐらいになるとよい。 先ほど産業別の総生産がありましたが、１次産業で総生産の何％を目指すとか、内々の目標値はあるんでしょうか。
事務局	産業別の目標は設定しておりません。
井田会長	取り組みましようと言っても、ある程度の目標がないとＰＤＣＡができない。目標があれば、反省ができるし、予測ができますので、ぜひ行政とＤＭＯが協力して取り組みをしてほしい。
事務局	議事（２）第３次定住自立圏共生ビジョン（案）の修正及び最終確認について 第４章 具体的な取組内容 林業の振興、地場産業支援及び企業誘致等の推進、鳥獣害対策の修正点について資料に基づき事務局から説明
委員質疑	
仮山委員	鳥獣害対策のＩＣＴ技術等の活用とは、どのようなものがあるのか。
鳥獣害対策部会	作業軽減及び効率的な捕獲を図るためのＩＣＴ技術でございますが、有害鳥獣の捕獲の際には罠を使用しますが、見回りが負担となっておりまして、そういった作業の軽減を図るために、罠が作動したときには、電波を発信して、作動したことをスマートフォンなどに通知するシステムなどが、民間で開発が進められているところでございます。ただ、こういった有害鳥獣対策に関するＩＣＴ技術というものはまだまだ研究開発が始まったばかりでございまして、実際五木村で１度試験をしてみたのですが、なかなか山間部で電波が通じにくいとか、そういった局所的な問題があり、どれが一番効果的なのか、最適解が見つけられてない状態でございます。 そういった状況でございまして、今年、市町村の各鳥獣担当でＬＩＮＥグルー

	プを作りまして、最新技術を各市町村で試してよかったものとか、情報共有を図りながら、今後こういったものが効果的なのか、現在模索している最中というところでございます。
井田会長	日本全国で僻地医療なんかでは、衛星回線を使われていますので、衛星回線を使えば、どこでも通じるので、衛星を使ったシステムで、人吉球磨の鳥獣対策します、モニタリングしますみたいなのを固めれば、国の補助金でも取れるんじゃないかと思います。かなり積極的に技術は進んでおりますので、熊本県内企業さんおられますので、その辺をご検討いただければと思います。
井田会長	林業のところに、森林の公益機能とありますが、人吉球磨の森林の価値がいくぐらいになるか、評価をして、資料として手元に持っておかれた方が、エビデンスを持った表現になると思います。
事務局	議事（２）第３次定住自立圏共生ビジョン（案）の修正及び最終確認について 第４章 具体的な取組内容 消費生活相談、人材の育成及び活用の修正点について資料に基づき事務局から説明
地域公共交通部会	新規事業について説明
委員質疑	
井田会長	消費生活についてですが、消費者教育業務をあえて追加したのであれば、小学校で、消費者教育をすべきだと思っております。しかも体育館に集めて座らせるんじゃないくて、ちゃんと教室で椅子に座ってやる。それぐらい校長の裁量だと思うので、定期的に消費者教育というものをレクチャーしていただきたい。そういった部分についての取り組みのお考えはあるかどうかお尋ねします。
消費生活部会	消費者教育の部門でございますけれども、18歳から成人ということもございまして、高校への出前講座ということについては対応しております。また、小中学校につきましても、毎年各学校長に出前講座の依頼という形で、ぜひ消費者教育を小中学校でもやらせていただきたいということをお願いをしているところでございます。ただ、授業等の関係で、なかなか実施が困難ということでの回答をいただいているというのが実情ではございます。
井田会長	やはり小学校から教わらないと詐欺がなくなる。ぜひとも検討してほしい。 また、地域おこし協力隊については、内々では想定されていると思うが、それぞれ何を目的とした人材を必要としているのか。部会あるいは、行政内で場当たりのではなく、きちんとスケジュール観を持って取り組んでいただきたい。
仮山委員	毎回資料が送られてくるが、できればPDFなどのデータで送っていただきたい。タブレットかパソコンを持っている方であれば問題ないと思います。

	また、作るのは大変かと思うが、資料に専門用語が出てくるので、リンクを貼って用語解説ができるようにしてほしい。
事務局	御提案ありがとうございます。希望される委員の方には、データで送信させていただきます。
仮山委員	五木村観光情報センターに来られる方に人吉球磨の情報を尋ねられるが、なかなか説明ができない。先ほどのグーグルマップを活用したデジタルマップがあるのを知っていればスムーズに案内できたと思う。そういう情報のやりとりが観光案内所でのミーティングなど人吉球磨地域全体として情報共有するネットワークできればと思っています。よろしくお願いします。
井田会長	部会会議を開くのはいいんですが、よければ年に何回かは関係する方々にも声かけをして、そのときは民間の方も参加できる時間帯で開催してほしいと思います。年に1、2回でも情報共有をしていけば、よりよい会議になると思いますので、ご検討ください。 それでは予定されておりました議事は終了いたしましたので、事務局にお返しいたします。
事務局	先生ありがとうございました。委員の皆様、貴重なご意見いただきありがとうございました。今後の予定でございますが、来年1月15日に首長に対しまして推進協議会を開催しまして、この3次ビジョンの承認をいただきたいと思います。その後、各市町村が3月議会で議決をいただいた後、3月下旬に策定という流れとなります。 また、委員の皆様の任期についてお知らせいたします。ビジョン懇談会委員の任期は2年となっております、来年の2月4日をもって任期終了となっております。近日中に幹事や所属団体を通じまして推薦依頼書を出させていただきます。引き続きご協力の方お願いいたします。推薦依頼書に仮山委員からご提案いただきましたとおり、メールアドレス等を記載していただいた方に対しては、資料をデータでお送りできればと思っておりますのでございます。 その他、皆様から何かございますでしょうか。 それではないようですので以上で第3回定住自立圏共生ビジョン懇談会を終了させていただきます。本日は誠にありがとうございました。